

## Photo

### 島根半島の海岸に生息する甲虫類 (1) クロコブセスジダルマガムシ

林 成 多

ホシザキグリーン財団, 〒691-0076 島根県出雲市園町沖の島 1659-5

クロコブセスジダルマガムシ *Neochthebius granulatus* (M.Sato) は、体長 1.5–1.6mm ほどのダルマガムシ科に属する海岸性甲虫である。日本国内では、北海道から四国まで広く分布している (新井ほか, 2004)。本州の日本海側では、これまで記録がなかったが、河上・林 (2007) により島根半島の岩礁地帯に生息していることが報告された。ここでは、夕方に撮影された本種の生態について紹介する。

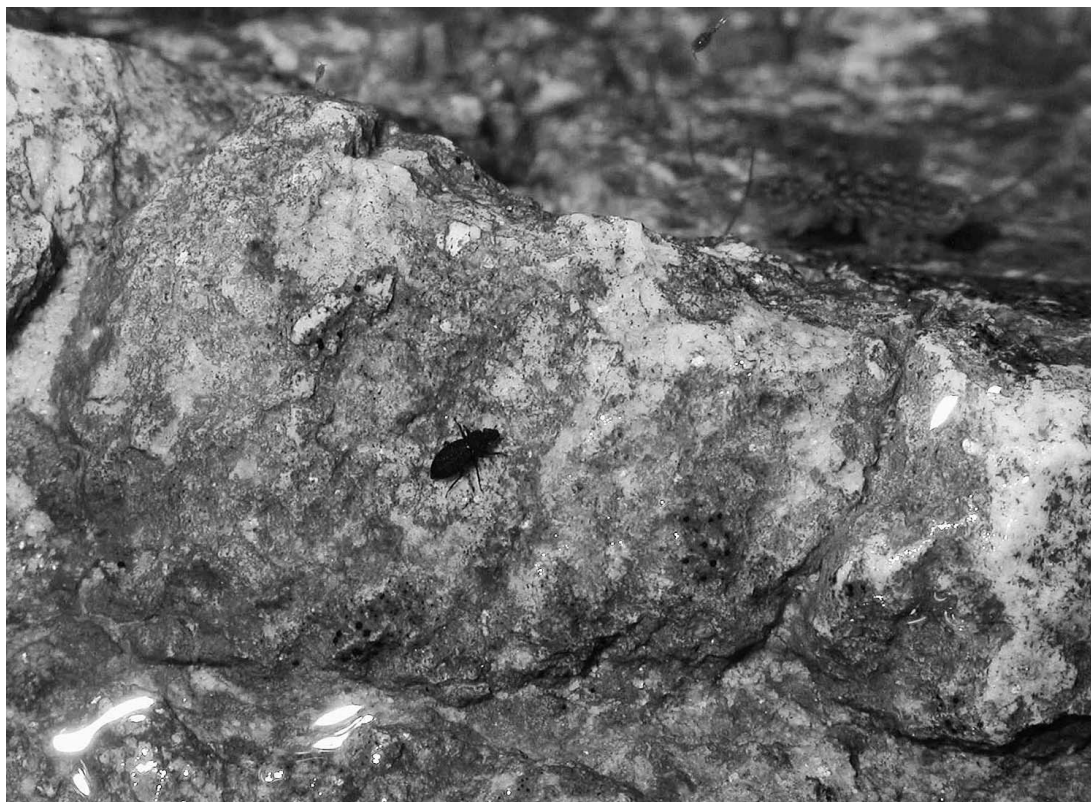


写真 水たまりの中を歩行するクロコブセスジダルマガムシ

2006 年 6 月 22 日 19 時 44 分, 出雲市坂浦町の海岸にて撮影。本種は日中、岩の割れ目に潜んでいることが多い。撮影時は日没後ですでにうす暗く、複数の成虫が岩礁のくぼみにできた水たまりの中を歩行する様子が観察された。

[文献] 新井志保・吉富博之・丸山宗利 (2004) 日本の潮間帯性甲虫。昆虫と自然, **39**(12): 21–24.

河上康子・林 成多 (2007) 日本海沿岸の海岸性甲虫類の研究 (2) 島根半島。ホシザキグリーン財団研究報告, (10)。印刷中。